

# 令和2年度 年間事業計画

## 鳴水保育園

令和2年度は、10年ぶりに職員1名を異動させて、新採保育士を1名迎える。気持ちも一新し、職員一人ひとりの意識向上を図り、更なる保育の質の向上に努める。新採保育士は他の職員とのコミュニケーションを取らせながら、職場での適応が図れるように努める。

また、働き方改革による同一労働・同一賃金制度について、正規職員・嘱託職員・臨時職員の業務内容の差や待遇差について昨年度から当法人内の施設長で何度も検討してきたが、引き続き密に検討していき、令和3年度からは本格的に実施できるようにしていきたい。

昨年度は保育士の確保が困難で、入所児童数が定員を満たしていないため人件費の収支に大変大きな不足が生じてしまった。令和2年度は適正な職員数を確保しつつ待機児童の解消を積極的に行っていききたい。

### 【令和2年度の重点的な取り組み事項】

#### 1. 保育内容の向上

(1) 職員の専門性を高めていくため、各種研修会への参加や園内研修・リーダー会議をより充実させ、クラスリーダーとしての自覚やクラス間の協力体制の強化を図る。  
また、さらなる保育の資質向上を目指し、保護者と保育士が信頼できる保育園を目指して、今年度も職員一同、子ども達のために保育に取り組んでいく。

(2) 当法人内6施設における法人内研修の取り組み  
・処遇改善等加算Ⅱ対象職員に対し、法人内研修を年5回実施し、各担当分野の職務内容について職員がより深い知識を持てるよう研修を実施する。

#### 2. 円滑な園の運営と充実を図る

園外保育や地域の行事に参加し、地域との交流の輪をより一層広げ、充実させる。

##### (1) 地域交流について

地域住民の方も参加している総合避難訓練は今年度も継続していく。

また、今年度はミニ発表会に地域の方々を招待し、より一層交流を深めていく。

##### (2) 小学校との交流

小学生と園児の交流だけではなく、教職員と保育士の意見交換を行い、双方の課題を共有していく。

また、小学校の授業参観にも参加し、卒園児を見守ると共に授業等の学校生活の様子なども踏まえ、保育の参考にする。

#### 3. エコ活動の取り組み

ペットボトルのキャップは収集し、スーパーに持参しているので継続する。

【 平均児童数／4月入所予定児童数 】

定員：120名

年 齢 別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平均児童数	12名	21名	21名	23名	19名	21名	117名
4月入所予定児童数	8名	18名	21名	19名	21名	17名	104名

【 一時保育利用状況 見込数 】

未 満 児		以 上 児		合 計	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
10件	20,000円	5件	7,500円	15件	27,500円

※ 通常保育の集団構成と異なることから、一人一人の子どもの心身の状態、保育場面への状況などを考慮して保育するよう心がける。

保育園に来た日が、子どもにとって気持ちよく、ゆったりと過ごせるよう心がける

◀ 職員配置 ▶ 必要に応じて日々雇用職員を雇用

【 延長保育利用状況 見込数 】

利用登録人数（年間）	200名	平均実利用者数	8名
------------	------	---------	----

※ 長時間保育になるので、通常保育とは異なる雰囲気作りに心がける。

◀ 職員配置 ▶ 延長保育の保育士（4Hパート） 1名

正規・常勤臨時職員 1名（ローテーション・時間外にて対応）

## 1. 保育理念

児童福祉施設として、乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人一人の特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指す。

## 2. 保育方針

- ・ 日常生活の会話を通して豊かな感性、創造性を培う。
- ・ 園外保育や地域の行事を、積極的に取り入れる。
- ・ 愛情と信頼関係をはぐくみ、人間関係の輪を広げる。
- ・ 十分に養護の行き届いた、環境を作る。

## 3. 保育目標

一人一人の個性を大切にしながら、心身ともに健やかに生活し、将来健全な社会人に育つための基礎を培う。

- ① 健康で元気に活動できるからだ
- ② 自分で考えて行動する力
- ③ 豊かで思いやりのある優しい心

### ○ 保育内容

- ・ 保育所保育指針を基に保育課程に添って指導計画（年間・月間・週間）を立案し、子どもたちが常に情緒の安定した生活が送れるような保育を進めていく。
- ・ ゆったりとした楽しい雰囲気の中で基本的生活習慣が身につくようにする。
- ・ 友だちとのあそびを通して社会性、協調性、仲間意識、友だちへの思いやりが育つようにする。

### ○ 行 事

年間行事（地域交流）予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水あそび、遠足等は事故防止対策について職員間でよく検討してから実施する。
- ・ 生活発表会、運動会等は個性を大切にしながら一人一人が楽しく参加できるようにする。

### ○ 安全対策

- ・ 避難訓練を毎月1回、多様な場面（火災・地震・災害）を想定して行う。年2回は総合訓練を行う。
- ・ 園外保育などに備えて、北九州交通公園の職員による交通安全教室を開き、適切な指導を受ける。
- ・ 警察署による不審者への対応策の指導を受ける。
- ・ 安全管理に関し、職員の共通理解を図ると共に日頃から職員間で情報交換を行う。（不審者の立ち入り等の緊急時の体制、火災発生時の体制等）
- ・ 送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。
- ・ 与薬については、医者が出した薬のみに限る。その際必ず所定の用紙に記入するよう周知徹底する。
- ・ 食中毒等については、常に衛生管理に気をつけ、調理員については特に食中毒予防に努めるよう指導する。

○ 地域との交流

- ・ 地域の行事に参加することにより、地域住民との交流の輪をより一層広げていく。(なるみずまつり、鳴水市民センターまつり、古紙回収等)
- ・ 地域の方々を保育園に招待し、世代間の交流を持つ。(ミニ発表会、夕涼み会、昔あそびの伝承など)
- ・ 「さわやか鳴水館」の入園者との交流を深める。(施設訪問、保育園への招待)
- ・ 未就園児のあそびの広場として園庭を解放すると同時に、保護者に対しては育児相談を受ける。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

(保育時間を超える時間は、延長時間として対応)

○ 保育担当

担当保育士を定め、施設長は総括的指導をする。調理担当は別に定める。

○ 職員研修

- ・ 全国・県・市・区関係及び、各保育士会関係の研究研修会の参加を通して園内研修を行い、相互研修を図る。
- ・ 日常の保育やカリキュラム作成時において問題点を検討し、共通理解を深める。
- ・ 保育者自身の自己研鑽を促し、資質の向上を図る。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、楽しい職場作りに努める。

4. 保育担当者 (別紙2の通り)

5. 保育設備

(1) 敷地	北九州市八幡西区東鳴水2丁目12番34号	2,416.52㎡
(2) 建物	鉄筋コンクリート造 2階建	967.68㎡

6. 資金計画

通常経費は、

・委託費収入	・利用者等利用料収入	・補助金事業収入
・その他の事業収入	・借入金利息補助金収入	・受取利息配当金収入
・受入研修費収入	・利用者等外給食費収入	・雑収入

等によるものとする。

【 令和2年度主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場所・会場
4月	令和2年度 入園・進級式→中止 保護者説明会・クラス懇談会 →中止 園内固定遊具安全指導	全児・保護者 保護者 3歳以上児	保育園内 保育園内 保育園園庭
5月	園児健康診断 親子遠足 消防総合訓練 新一年生の同窓会 角笛シルエット劇 年長者との交流 職員健康診断	全児 全児・保護者 全児・地域住民・消防署 全児・卒園児 年長児 4・5歳以上児 地域年長者(ころばーず) 全職員	保育園内 (未定) 保育園園庭 保育園内 ひびしんホール 保育園内 保育園内
6月	歯科検診 個別懇談会 保育参加(参観) ホットケーキクッキング	4・5歳児 全児の保護者 全児・保護者 年長児	保育園内 保育園内 保育園内 保育園内
7月	プール開き 七夕まつり	全児 全児	保育園内 保育園内
8月	夕涼み会 プール納め	全児・保護者・地域住民 未入園児と保護者 全児	保育園内 保育園園庭
9月	敬老の日(施設訪問) 運動会	年中児 全児・保護者・地域住民 未入園児と保護者	さわやか鳴水館 保育園園庭
10月	カレークッキング 遠足 プラネタリウム見学 消防総合訓練 園児健康診断	全児 全児 年長児 全児・地域住民・消防署 全児	保育園内 (未定) 児童文化科学館 保育園園庭 保育園内
11月	鳴水市民センターまつり 一日保育士運動	全児 地域住民	鳴水市民センター 保育園内
12月	生活発表会 ミニ生活発表会 クリスマス会	全児・保護者 全児・鳴水館入園者・地域住民 全児	保育園内 保育園内 保育園内

実施月	行 事	参 加 者	場所・会場
1月	卒園・修了写真撮影	全児	保育園内
2月	節分 保育参加 個別懇談会	全児 全児・保護者 保護者（希望者）	保育園内 保育園内 保育園内
3月	ひなまつり お別れ交流会（バイキング） お別れ遠足 卒園式 修了式 交通安全指導	全児 全児・地域住民 全児 年長児と保護者・年中児 全児 全児	保育園内 保育園内 （未定） 保育園内 保育園内 保育園内
<p>1. 月例行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会      ・避難、消火訓練      ・身体計測</li> <li>・給食関係職員O—157検査      ・リーダー会議（毎日）</li> <li>・定例職員会議      ・園内研修会</li> <li>・地震災害を想定した避難訓練や、不法な侵害から子どもたちを護る防犯訓練、台風等を想定した風水害避難訓練を必要に応じて実施する。</li> <li>・毎月末に 園だより、献立表、給食だより、クラスだより（年1回）を発行し、配布する。</li> </ul> <p>2. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お泊まり保育（年長児）</li> <li>・保育参加（年2回（うち1回は講演会）…6月・2月）</li> <li>・園児健康診断（年2回…5月・10月）</li> <li>・給食試食会</li> <li>・職場体験学習（黒崎・熊西・引野中学校 等）</li> <li>・鳴水小学校との交流</li> <li>・未入園児との交流（なるみずっこ）</li> <li>・熊手商店街七夕制作出品</li> <li>・園内植木の消毒</li> <li>・消防設備機器点検</li> <li>・設置遊具等の安全点検</li> <li>・事業協会 施設長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。</li> </ul> <p>3. 職員研修については保育者としての資質向上の為、一人でも多く各種研修会に参加させる。</p> <p>4. 一人暮らしの年長者慰問、鳴水市民センターまつりへの参加、年長者（ころばーず）との交流、ミニ発表会への招待 等地域との交流を大切にする。</p> <p>※ 令和2年度入園・進級式は、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止し、入所面接及び書面にて説明を行う。</p>			